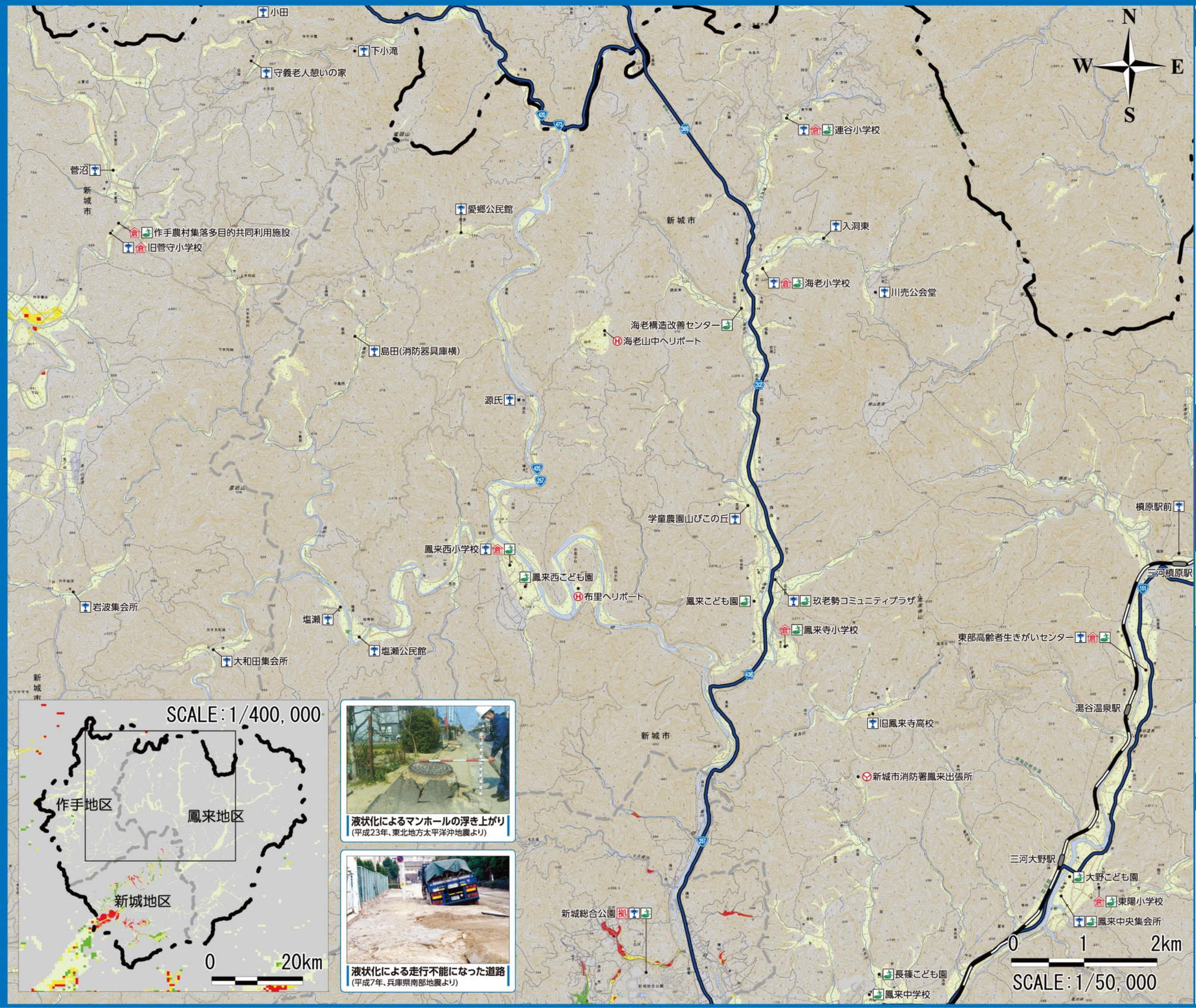
D 液状化分布図（鳳来地区北西部）

※この図は、新城市域は市独自の検討結果を、市域外は愛知県および静岡県公表資料を用いて作成しています。



液状化によるマンホールの浮き上がり
（平成23年、東北地方太平洋沖地震より）

液状化による走行不能になった道路
（平成7年、兵庫県南部地震より）

凡　例

- 避難場所
- 第1次緊急輸送道路
- 第2次緊急輸送道路
- 市防災倉庫
- 屋外拡声子局
- 場外離着陸場（ヘリポート）
- 防災活動拠点
- 市役所、支所
- 病院
- 警察署
- 国道
- 消防署
- 県道

液状化危険度の説明

	極めて高い	液状化の危険度は極めて高く、液状化が発生する面積はこのうちの18%～35%程度です。砂や泥水が噴き出し、建物や橋が傾いたり、道路が陥没する場所もあります。
	高い	液状化の危険度は高く、液状化が発生する面積はこのうちの5%程度です。砂や泥水が噴き出し、建物が傾く場所もあります。
	低い	液状化の危険度は低く、液状化が発生する面積はこのうちの2%程度です。砂や泥水が噴き出す場所もあります。
	極めて低い	液状化の危険度は極めて低いです。
	対象外	対象外です。

マップの利用上の注意

- このマップは愛知県が公表した南海トラフで発生する恐れのある地震のうち、あらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震（理論上最大想定モデル〈陸側ケース〉）について、新城市内で実施されたボーリング調査（地盤調査）のデータを活用し、より本市の実情にあった地震の揺れや液状化の予測結果です。
- ここに示したものはあくまで可能性を示したものであり、次に必ず起きる地震を予測したものではありません。いつ起こるか分からない災害に備え、日頃から家庭や地域での対策を考えましょう。